

【実践発表】A～F 詳細時刻表

NHK for SchoolでGIGA端末を使いこなそう！オンラインワークショップ (2022年2月12日 (土) 開催)

氏名※敬称略	所属	研究タイトル	内容	備考/主な使用番組	
実践発表A：【低学年～中学年】でのICT導入実践 10:00～12:00 【1人20分(発表15分+質疑5分)×5人+ミニ講演(助言者)20分=120分]					
1	10:00～ 片岡義順	川崎市立新城小学校	おはなしのくにを活用した1年生「楽しみ読み」の考察 ～1人1台端末におけるクラウドでの感想交流を通して～	小学校1年生において「おはなしのくに」視聴後にクラウドを活用した感想交流を行った。これまでの「おはなしのくに」授業実践で報告されてきた読書を楽しむ姿や感じたことを表現する力の育成を本研究でも見ることができた。子どもたちが「楽しみ読み」に自立的に向かうことに有効な手立ての1つであることを検証する。	おはなしのくに
2	10:20～ 安井政樹	札幌市立横北小学校	NHK for Schoolで個別最適な道徳学習	道徳番組を活用し、内容項目の視点で多面的多角的な議論をすることにより、自分の経験と結び付けたり、内容項目同士のつながりを考えたりして深く学ぶ授業デザインを提案する。そのうえで、本時の振り返りで自由に内容項目を選択しながら、自己の生き方を考える際に、個別最適化を図る道徳学習の在り方を提案します。	新ざわざわ森のがんばちゃん
3	10:40～ 水野宗市	宮崎市立宮崎東小学校	個別最適な学びのための小学校2年生における一人一台端末の活用 ～番組の教育的効果を通して～	番組のもつ「教育的効果」を活かしながら、小学校2年生での個別最適な学びとはどのようなものかを考えて「一人一台端末の活用」に取り組んだ。番組視聴を中心として、これまでの一斉視聴とは違った形で授業デザインを計画し実践した。	おぼけの学校たんけんだん 新・ざわざわ森のがんばちゃん おはなしのくに
4	11:00～ 谷田健司	琴浦町立八橋小学校	GIGA端末×放送番組を活用した低学年の学校間交流の取り組み ～生活科「まちのよいところを交流校の友達に紹介しよう」～	2年生生活科「たんけんだん」の学習で、地域性の違う学校とリモートを使い学校間交流を行った。その際、学校放送番組を活用し取り組んだ。導入では、それぞれの学校で番組視聴し学習の見通しをもたせた。作品づくりでは、意見交換ができる場を設定し、番組の内容や番組HPの作品を活用しながら意見交換できるようにした。番組活用しながら学校間交流することで、両校の児童が意欲的に意見交換をし、地域の良さを気づくことができた。	おぼけの学校たんけんだん 番組ホームページ
5	11:20～ 岡崎耕太郎	大阪市立小松小学校	「気づき」の「築き」 ～視聴力upで情報収集力up!～	小学校3年生の児童に、年間を通して、動画内の情報収集をめあてとした授業を実施し、「どれたけ気づき」、それを表現したり人と比較できたりするかを研究した。「児童の実態の変化」や「指導の変容」、「どんな動画を使ったか」等をまとめた。	クリップ動画各種
助言者によるミニ講演：堀田博史先生(園田学園女子大学)					
実践発表B：情報を活用し扱う能力を養おう 10:00～12:00 【1人20分(発表15分+質疑5分)×5人+ミニ講演(助言者)20分=120分]					
6	10:00～ 金子直也	船橋市立市場小学校	NHK for Schoolで情報活用能力の育成	学習指導要領で、学習の基盤となる資質・能力として「情報活用能力」があげられた。しかし一言で、情報活用能力といわれてもどのようにしようすればよいのか悩んでいる教員は少なくないと考えます。そこで、総合的な学習の時間にNHK for Schoolを使うことで児童の情報活用能力を育むことができないかと考えた。	しまった! プロのプロセス メディアタイムズ
7	10:20～ 後藤宗	名古屋市立滝川小学校	番組を活用してメディアリテラシーを身に付けよう! ～学校での学びは家庭で生きている～	メディアリテラシーを学校だけでなく、家庭で生かすことは難しいと思います。しかし、NHK for Schoolの番組を個々で視聴すると、授業時間を必要以上に費やすことなく効果が見られます。子どもたちの様子や、学校での取り組み後、家庭でどのように行動が変化していったか、その一部始終をご紹介します。	メディアタイムズ
8	10:40～ 岡本光司	金沢大学附属小学校	世界に届け!加賀友禊の魅力をSNS(Instagram)で発信 ～NHK for Schoolで学ぶ・活かすSTEAM&メディア・リテラシー～	総合的な学習の時間に学んだ金沢の伝統工芸「加賀友禊」。しかしその魅力に反して、現状は多くの課題を抱えている。課題を解決するために自分達にできることを考え、社会に向けて働きかけます。NHK for Schoolの番組で学んだ情報活用スキルとメディア・リテラシーを生かして、リーフレットや動画コンテンツを作成し、SNSでその魅力をより多くの人に発信。	しまった! メディアタイムズ アット!メディア
9	11:00～ 福田晃	金沢大学附属小学校	事業採択を目指そう! ～プレゼンの質を高めるNHK for Schoolの活用～	金沢市役所オリンピック関連事業推進室と共同でフランスパラリンピック競泳選手との交流事業を行っています。コロナ禍でも可能な新たな国際交流のあり方を考え、市の職員に向けてプレゼンを行います。採択されたアイデアは実際に金沢市の事業として行われるため、子どもたちは真剣に取り組むことになります。NHK for Schoolの番組を活用し、プレゼンの質の向上を目指しました。	しまった! プロのプロセス
10	11:20～ 石堂裕	たつの市立新宮小学校	放送番組をもとに「多面的にみること」を鍛える方法を探る	放送番組「普話法廷」は、児童の知る切り口とは異なった視点で普話をとらえている。朝の学習タイムや自宅でのオンデマンド学習を設定し、番組をもとに「多面的にみること」について話し合い、そのよさを整理した。さらに国語や社会科などの教科学習や総合的な学習の時間に「多面的にみること」を意図的に取り入れた学習を仕組んだ。学習後の児童の自己評価を分析し、その効果を紹介する。	普話法廷
助言者によるミニ講演：小林祐紀先生(茨城大学)					
実践発表C：教科や実技の中でGIGA端末を活用しよう 10:00～12:00 【1人20分(発表15分+質疑5分)×5人+ミニ講演(助言者)20分=120分]					
11	10:00～ 浅村芳枝	下松市立久保小学校	NHK for School×家庭科×SDGs	「カテイカ」は、生活の中の問題を解決するための知恵と技を伝えてくれる番組です。「ドスルコスル」は子どもたちが「調べたい!」「解決したい!」と思える課題の設定に必要な情報を得ることができる番組です。家庭科の学習内容に合わせてこの2つの番組を活用することで、児童が持続可能な社会の構築の視点から考え、工夫しようとするようになることをねらった実践例をご紹介します。	カテイカ ドスルコスル
12	10:20～ 石田年保	松山市立椿小学校	番組とデジタルノートを活用して器械運動の技能アップ!	体育科の学習で、NHK for Schoolの番組を見て運動の理解を深めたり、タブレット端末で試技を撮影して動きの確認をする学習活動がたくさん行われるようになってきました。手本と自分の動きを比較して課題意識をもたせるために、タブレット端末のデジタルノートを活用した、学習カードや指導で工夫してきたことをお伝えします。1人1台のタブレット端末を活用して、今までの授業をバージョンアップさせましょう。	はりきり体育ノ介

13	10:40～ 武井三也	横浜市立新石川小学校	NHK for Schoolおよびルーブリック評価を用いた個別最適化学びを実現する授業設計	小学校において1人1台端末をもちいた個別最適化学習を実施するためのルーブリック作成や授業設計の留意点についての研究。ルーブリックにおいて思考・判断と表現に分けた作成が児童の学習活動の具体化につながる。NHK for Schoolの個別視聴からの複数児童での教え合いを行うことが児童の学びに寄与していたことがわかった。	ふしぎエンドレス
14	11:00～ 小池翔太	東京学芸大学附属小金井小学校	プレイリストのキュレーション活動で、国語科「書くこと」の力の育成へ	情報を集めて新たな価値を付与する「キュレーション」活動は、国語科の言語活動においても様々な形で取り入れられていました。今回の研究では、NHK for School「プレイリスト」を活用した授業づくりにチャレンジしました。当日は、子供たちとおきの「オリジナルプレイリスト」や、質問紙調査の結果などを、具体的に報告します。	プレイリスト
15	11:20～ 中村純一	佐賀龍谷学園龍谷中学校	番組を生かしたインプロな英語活動をすくに動画化!	NHK for Schoolの番組を見て、学んだことを動画で表現するという取り組みも多いですが、意外と時間がかかってしまったり、作り込みすぎてしまったりという悩みもあると思います。その悩みにぶつかりながらも乗り越えた結果、おもしろい活動ができました。英語の番組「知れたガールと学ボーイ」を使った活動の様子と取り組み方などを紹介します。	知れたガールと学ボーイ
11:40～ 助言者によるミニ講演：藤木謙壮先生（備前市教育委員会）					

実践発表D：教科横断・プロジェクト型学習の実践や教材活用
13:00～15:00 【1人20分（発表15分＋質疑5分）×5人＋ミニ講演（助言者）20分＝120分】

16	13:00～ 青田俊平	大阪市立今里小学校	NHK for School × SDGs 達成に向けた実践と評価 ～離島との遠隔教育を通じた児童の行動変容と意識変容～	離島に位置する奄美大島の小学校とつなぎ、自然豊かな地域について交流する活動を通じて、地域の特徴や課題を知り、奄美大島が抱える環境問題の解決に向けて協力して取り組んだ。その結果、児童は他の地域の文化に触れ、遠く離れた児童と交流する機会を設けることで、視点を外へ広げたり、興味関心を深めることができた。さらに、成果物として「SDGs かるた」の取組を通して、奄美大島版の目標別プレイリストを作成した。	ひろがれ！いろとりどり 未来広告ジャパン！ ドスルコスル ど～する？地球のあした
17	13:20～ 石井芳生	関西大学初等部	NHK for Schoolを複合的かつ個別活用し、総合学習を活性化	「コロナに負けるな！自分やまわりの人を元気に！豊かな心！」というプロジェクトを立ち上げた4年生。身近な人へのヒアリングや複数の番組・クリップをヒントにしながら「何をどのようにすべきか」具体化された。結成された20班ではつくりたいものに合わせた個別活用も広がった。活動経過やコロナ禍の社会情勢について外国の方や他校の友だちとのオンライン交流までも含め、本プロジェクトを紹介する。	しまった！ ツクランカー テキシコー
18	13:40～ 中野忠明	枚方市立枚方中学校	「ACTIVE10」「考えるカラス」をパフォーマンス課題のテーマとした個別最適化の家庭学習	生徒の自発的な探求を促し、「思考力」を育成する「ACTIVE10」、科学の考え方を学ぶ「考えるカラス」の2つから、生徒それぞれが番組を選んで視聴し、番組内で紹介された科学の疑問に対して自分なりに答えを考えレポートにまとめる活動を家庭学習として取り組ませた。このパフォーマンス課題を通して、生徒の思考力の向上を目指した。	アクティブ10理科 考えるカラス
19	14:00～ 小谷拓	大阪市立大和川中学校	GIGAスクール環境における、教科学習のパッケージング ～NHK for Schoolと自作授業動画の併用～	文科省が提起している「これまでの実績×ICT=個別最適化された学びの環境」に基づき、これまで授業で提供していたNHK for Schoolの動画、自作の授業動画をはじめ、シンキングツールやルーブリック、活用スライドなどをパッケージングして元提供を行った。これにより生徒の授業観や、成果物にも影響がみられた。また、パッケージ提供を学校単位で行った過程・影響も踏まえて考察を行う。	10min.ボックス地理 歴史にドキリ、レキデリ アクティブ10公民 プロのプロセス NHK高校講座など
20	14:20～ 菊地寛	浜松市立雄踏小学校	NHK for School×タブレット×総合学習＝STEAM教育に挑戦！	総合的な学習の時間で、「地域を盛り上げよう」と児童が計画を立て、実現に向けて、グループで問題解決を行います。家庭科、理科とを横断させ、カリキュラム・マネジメントを行い、単元を構想しました。また、商店街に協力いただきながら、ものづくりに取り組みます。NHK for Schoolをタブレット端末を活用して視聴しながら、その問題解決をする際、手立てやスキルを学びました。	しまった！ プロのプロセス
14:40～ 助言者によるミニ講演：岩崎有朋先生（鳥取県教育センター）					

実践発表E：GIGA端末で【社会科】の授業をより魅力的に！
13:00～15:00 【1人20分（発表15分＋質疑5分）×5人＋ミニ講演（助言者）20分＝120分】

21	13:00～ 新宅直人	杉並区立天沼小学校	3年生の社会科、NHK for School×シンキングツールで思考を活性化	1人1台端末を生かして番組や動画クリップを視聴し、その後、自分の考えをシンキングツールにまとめていきます。授業支援ソフト「ロイノート」を使うので子どもたちは自由自在に、そして試行錯誤しながら自分の考えを練ることができます。各自がシンキングツールにまとめた考えを全体で共有して話し合うことで更に学びを深めていきます。	コノマチ☆リサーチ
22	13:20～ 天野健太郎	大阪市立河内南小学校	NHK for Schoolの反転学習での活用法 ～学校と家庭をつなぐサービスとしてのNHK for Schoolの活用	現在新型コロナウイルスが猛威を振るい、学校現場では、休業や短縮授業などの措置に伴い、教育活動が制限されている状況になっている。大阪市では、児童に一人一台学習用端末が配布されており、それを活かした学習保証を推進している。そこで報告者は、この学習用端末を活用し、知識・技能は家庭学習で習得させ、授業で思考・判断・表現力を養う時間が確保できる反転学習に取り組むことで学習効果が高まるのではないかと考えた。一方で反転学習の課題としては、(1)予習の仕方（児童の学習動機・学習習慣）(2)反転学習に用いることができる十分な質の教材が少ないという2点があげられる。この現状から、NHK for Schoolを反転学習の予習で活用し、家庭学習に有効であるかを検証するために本研究主題を設定した。	未来広告ジャパン！
23	13:40～ 宮崎誠	川崎市立富士見台小学校	学校教育と家庭学習を連携させた単元計画作成における情報活用能力の育成 ～NHK for Schoolの「プレイリスト」の活用を通して～	個別最適化された学びの実現に向け、学校と家庭での学習を連携させるために、情報端末の環境や個人IDに依存しないNHK for Schoolの「プレイリスト」の機能を活用することが有効であると考えた。児童が自ら作成したプレイリストの内容と情報活用能力のチェックリストの回答結果を整合・分析し、傾向を見出すことで、児童がプレイリストを作成する際に必要な情報活用能力がどのようなものか検討した。	歴史にドキリ 社会にドキリ クリップ

24	14:00～ 小野寺慧	仙台市立錦ヶ丘小学校	『歴史にドキリ』をきっかけに多様な視点から人物像を豊かにとらえることのできる番組活用 ～『自分版歴史にドキリ』を作ろう～	『歴史にドキリ』は歴史上の出来事や人物像が分かりやすく構成されており、教科書や資料集に書かれていることをイメージする際に効果的に活用することができる。「歴史にドキリ」を継続視聴をしていくことで、歴史上の人物についての関心を高めるだけでなく、歴史について学ぶ際にはポイントがあることも学ぶことができる。ただし、番組を視聴して分かったことをまとめるだけで終わってしまったのでは、番組の良さを活かしきれない。そこで、より主体的に学ぶために、番組のドキリポイントを受け止めるだけでなく、番組をモデルにして「自分なりのドキリポイントを考え、自分版の歴史にドキリを動画で表現させる」活動を行い多様な視点から人物像を豊かにとらえることができるようにした。	歴史にドキリ
25	14:20～ 山下若菜	熊本市立龍田小学校	『歴史にドキリ』を活用して動画づくりにチャレンジ！	社会科では、歴史上の人物がたくさん出てきます。ただの暗記作業になりがちなところを、より楽しく深く学ぶことができるようになるために、その人物になりきってみたり、現代に呼び寄せて対談したり、ニュースにしたりします。自分たちでその人物を知るのに「歴史にドキリ」は最適です。また、ただ観るだけでなく、ちょっとしたコツを使うと、より子どもたちが主体的にその時代に没頭していきます。	歴史にドキリ アクティブ10
14:40～	助言者によるミニ講演：菅原弘一先生（仙台市立錦ヶ丘小学校）				
実践発表F：【特別支援】的手法で個に応じた学びを引き出す 13：00～14：40 【1人20分（発表15分＋質疑5分）×4人＋ミニ講演（助言者）20分＝100分】					
26	13:00～ 郡司竜平	北海道札幌養護学校（中学部）	特別支援学校でNHK for Schoolを用いた授業づくり ～ソーシャルディスタンスってなあに？～	特別支援学校（知的）中学部1年生に対して、感染症対策を考え、学ぶ授業づくりに先生方と取り組んだ。一斉での部分視聴と1人1台端末を生かして繰り返しの個人視聴を取り入れることで思考の深まりを目指した。	ストレッチマン・ゴールド
27	13:20～ 東森清仁	横浜市立仏向小学校	特別支援学級における総合的な学習の中のNHK for Schoolの活用と、個別最適化学びの実現に向けての取り組みについて	総合的な学習の時間で「学校の先生たちのことをもっとよく知って、もっとなかよしな学校にしよう」と児童が取り組んできました。児童の学習の中で、どのような番組を活用し、どのように取り組みを進めたのかを紹介します。他にも、個別学習や特別活動での取り組みなど、児童の課題に応じた番組活用の事例を紹介します。	しまった！ お伝と伝じろう メディアタイムズ ふしぎエンドレス よろしく！ファンファン
28	13:40～ 海老沢権	一般社団法人SOZO.Perspective / 新渡戸文化小学校	デジタル・クリエーションを学習のアウトプットに生かす取り組み	情報の授業の中で、一人一台の端末を表現のツールとして活用できるよう、デジタル・クリエーションに取り組んできました。それを様々な学びを深めるアウトプットとして発展できるように、NHK for Schoolでイメージを高めながら取り組んだ授業実践について紹介します。	お伝と伝じろう おはなしのくにクラシック しまった！
29	14:00～ 田原健之介	大阪市立住吉小学校	継続的なオンライン授業の組織作り ～1人1台端末を活用した個別最適化学習に挑戦する持続可能な教職員組織～	新型コロナウイルス感染拡大を受け、大阪市ではオンライン授業を全市で行うことになった。オンライン授業の経験のない本校で、教頭としてオンライン授業をはじめにあたり、1人1台端末を活用した授業に継続的に取り組める持続可能な組織作りをめざした。また、特別支援学級に聴覚障害や不登校児童への学習保障として個別最適化した学習に取り組んだ。	はりきり体育ノ介 さんすう犬ワン Why!?プログラミング しまった！ 等
14:20～	助言者によるミニ講演：前田康裕先生（熊本市教育センター）				